

経営比較分析表（令和6年度決算）

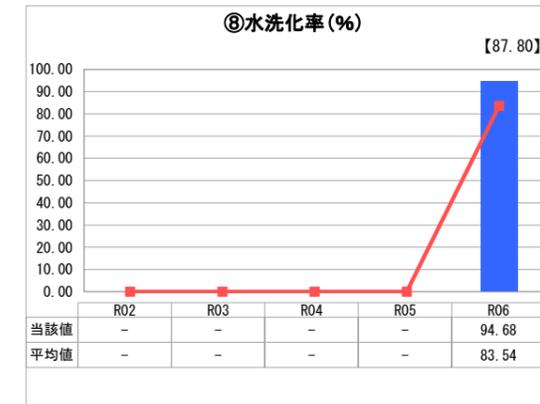
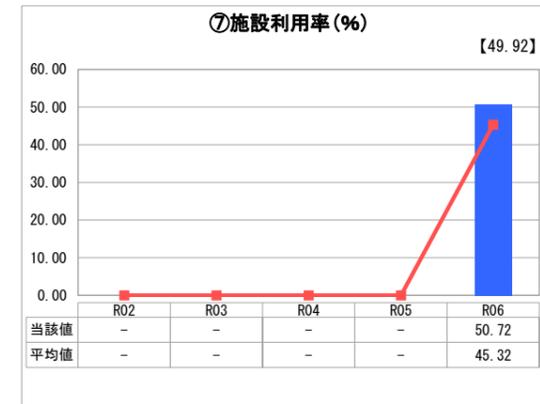
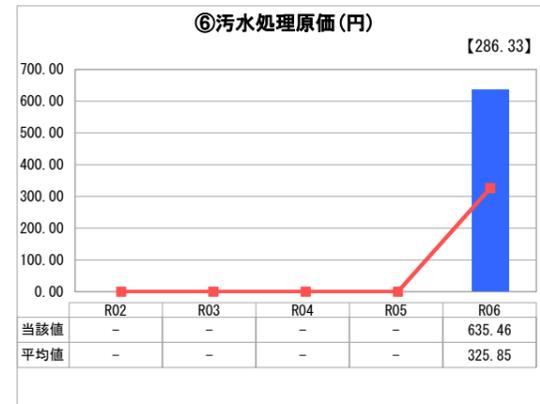
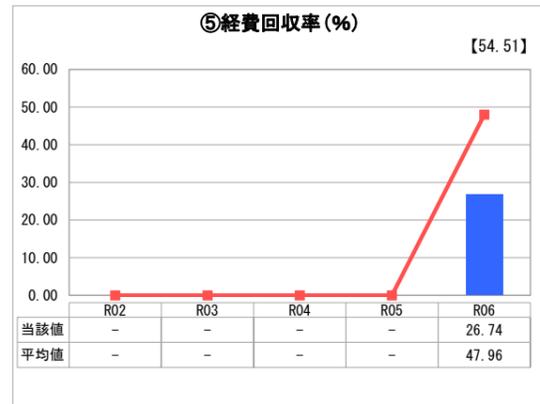
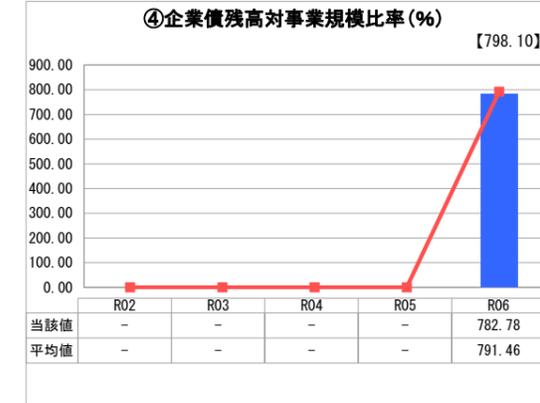
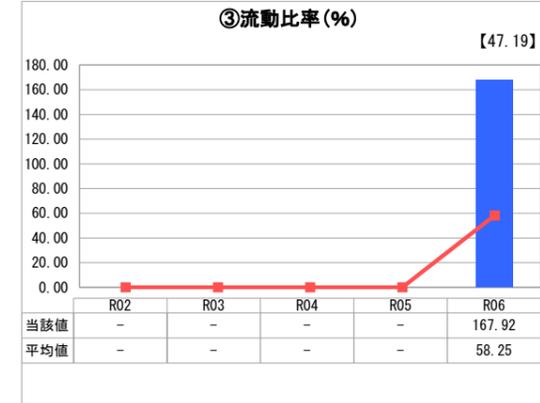
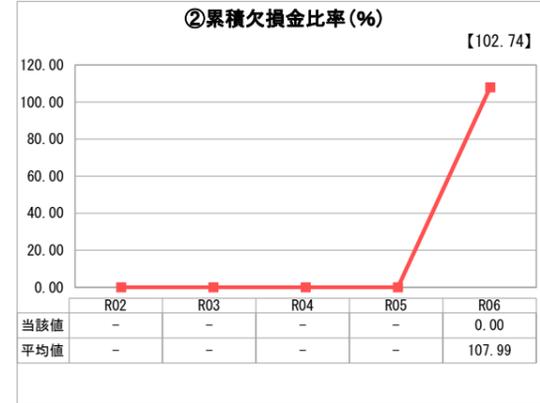
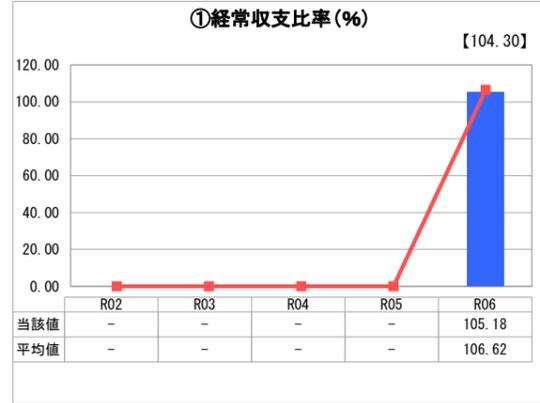
佐賀県 吉野ヶ里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	83.32	3.63	86.39	3,630

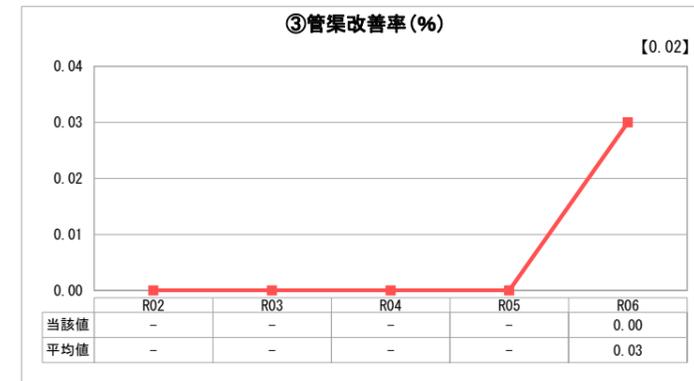
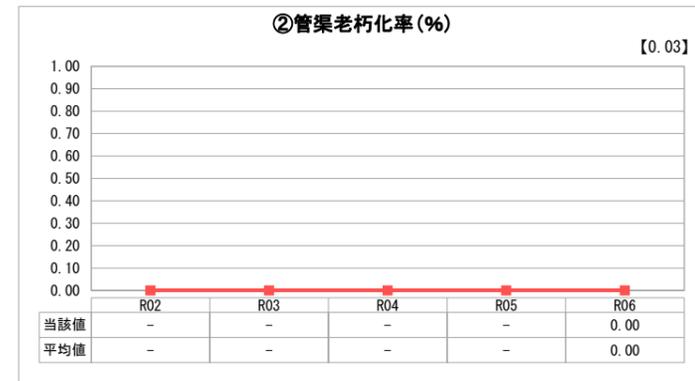
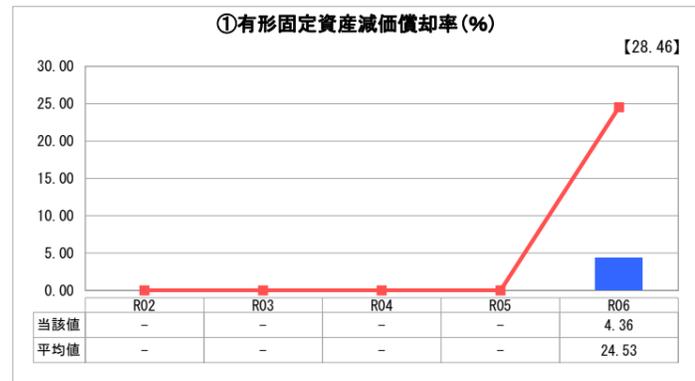
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,162	43.99	367.40
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
583	0.21	2,776.19

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度より公営企業会計
 【経常収支比率・累積欠損金比率】
 経常収支比率は100%を超えているが、一般会計からの繰入金を含んでおり、今後経営の効率化が必要となってくる。
 累積欠損金比率は発生していないため0%となっている。
 【流動比率】
 流動比率は100%を上回っている。
 【企業債残高対事業規模比率】
 企業債残高対事業規模比率は類似団体平均を下回っており、今後も企業債残高は減少見込みであるが投資規模が適切かどうか分析を行う必要がある。
 【経費回収率・汚水処理原価】
 経費回収率は100%を大きく下回っており、汚水処理にかかる費用が使用料で賄えていない状況である。
 汚水処理原価は類似団体平均を上回っており、維持管理費の削減等に務める。
 【施設利用率】
 施設利用率は類似団体平均を上回っている。
 【水洗化率】
 水洗化率は類似団体平均を上回っており、今後も接続促進を図り下水道使用料の確保に務める。

2. 老朽化の状況について

管渠老朽化率、管渠改善率、ともに0%で推移している。
 平成8年度に供用開始し、28年が経過した。管渠が耐用年数を経過するにはまだ年数があるとはいえ、今後、経年による施設の老朽化、維持修繕、更新費用が増大する見込みであり、最適整備構想計画等に基づき計画的な更新を図っていく必要がある。

全体総括

最適整備構想に基づき、計画的な機械等の改修を行う必要がある。
 令和6年度より地方公営企業法を適用しており、令和7年度に法適用化以降に対応した経営戦略を策定し、将来の見込みを踏まえた分析を行い、経営基盤の強化に務める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。